

# 剣の眺め楽しんで



## 上市・細蔵山

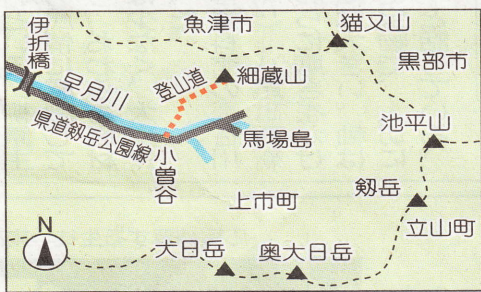
# 愛好家が登山道整備

富山市内の登山愛好家がつくる中高年登山グループ山凱会（蛭川健昭会長）が、「越中の百山」にある上市町伊折の細蔵山（1551.8）に、頂上までの登山道を切り開いた。これまで登山道はなく、やぶが生い茂っていたため残雪期しか登れなかった。ルート整備によって、春から秋まで剣岳を一望に見渡せる眺めを楽しめるようになった。

新ルートは上市町伊折の早月川沿いで、馬場島に近い小曾谷の向かい側を登る約3・5キロの道のり。標高1234メートルの稜線までは急な登り坂が続く。往復で約7時間。山頂からは剣岳の山容や山肌がよく見える最高のポイントという。

同会は平成12年、富山市内の中高年向け登山教室の受講生で設立。講師の元県警山岳

細蔵山山頂まで登山道を整備し、プレートを設置した「山凱会」会員116月28日、上市町伊折



警備隊長、谷口凱夫さんを顧問に会員は50〜70代の男女27人。16年までに国内で標高の高い「日本百高山」を踏破。その後「越中の百山」に取り上げられた百二十三山を登った。その経験から登山道が整備されていない細蔵山のルート整備を決めた。

登山道整備は昨年9月から12月まで取り組み、会員がなたやのこぎりなどでやぶを切り開いた。今年6月に3回作業を行い、急こう配の坂にはロープを張り、同月28日、頂上にケヤキのプレートを設置した。同会は「登り下りは厳しいが、好天時に山頂から眺める剣岳を見てほしい」と話している。